

1. 円筒カバーなどの部品図を作成するのに、展開図が必要となります。
割付角度と半径より、展開長を求める作業を軽減することを目的とするのが、本スクリプトです。

2. メニューの説明

ラベル	エントリ	ボタン
1. 原点 ϕ	0,0	GetPa.R
展開半径	425	
2. 基準線角度	-90	Get-std
3. 作図範囲線	600,150	Get-Y

言うまでもなく、長さ手法に
角度を追加して
くれます。

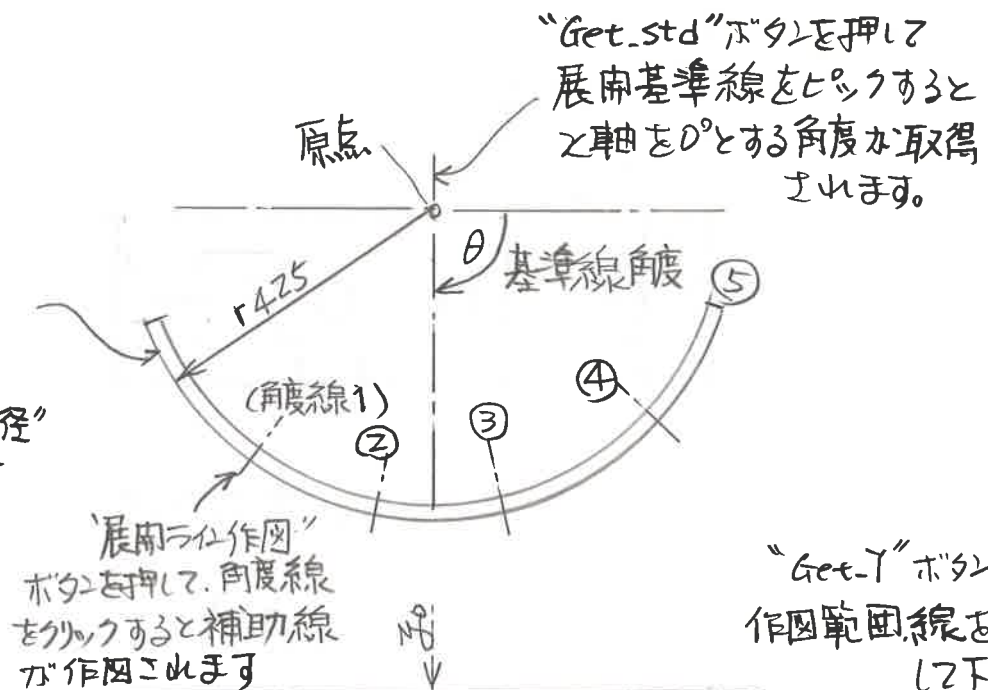
(長方形dim.edit)
を参考

110,123
(15°)

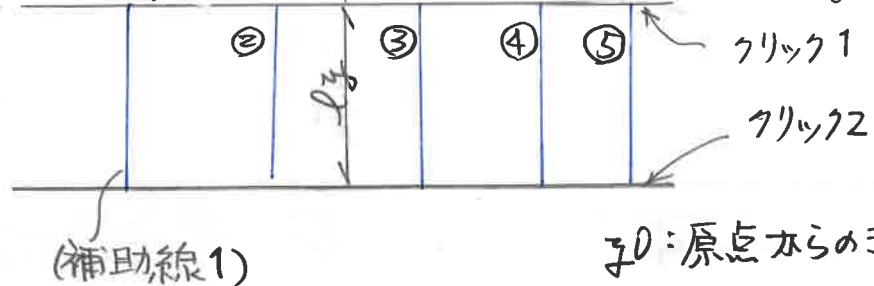
長さ手法に
角度追加

展開ライン作図

"GetPo.R"
ボタンを押して
円錐は円錐
をクリックすると
"原点座標"と"半径"
が取得できます



"Get-Y"ボタンを押して
作図範囲線を並排
して下さい。

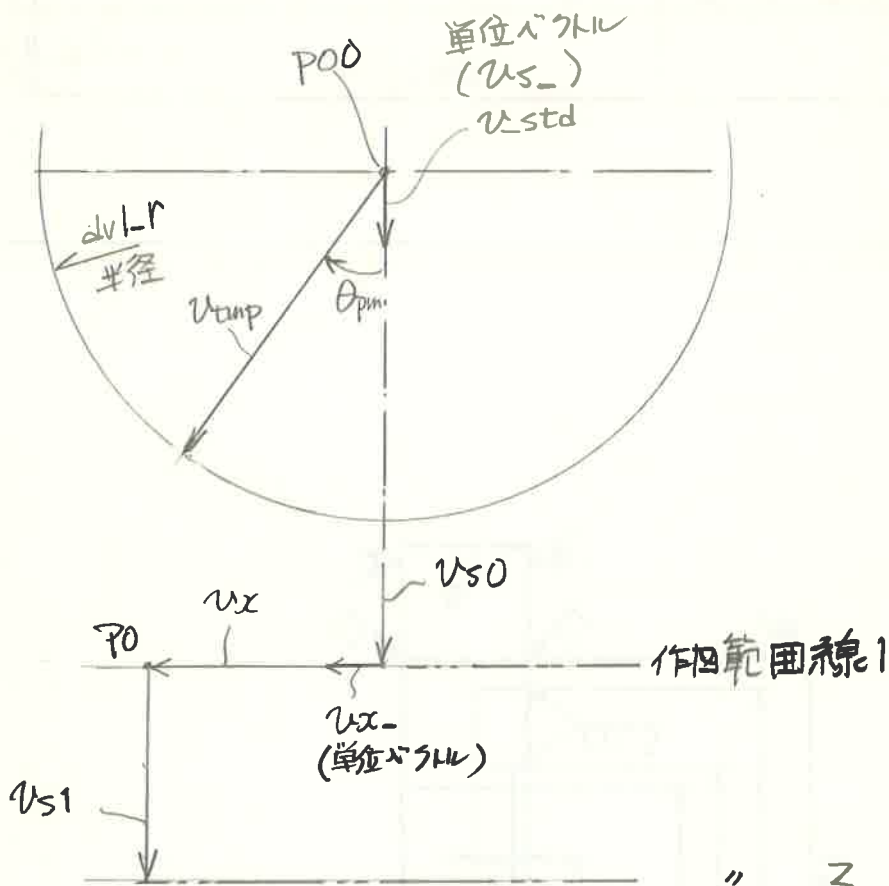


Y0: 原点からのきょり
L: 作図の中
が取得されます。

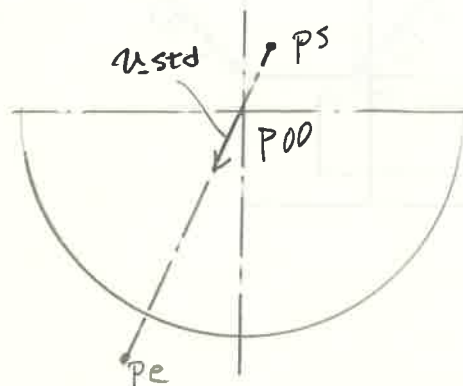
def sakuzu(seg)

K230723-2

ベクトルの定義

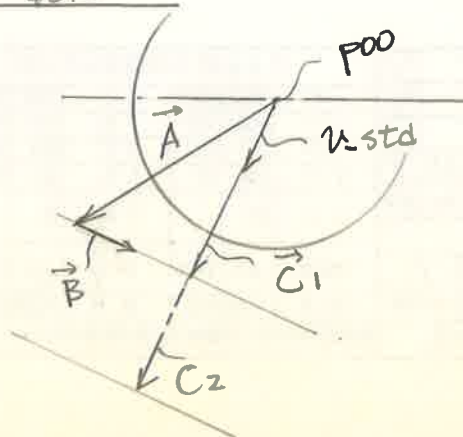


get_std 基準線取得 ($\bar{c}=0$)



直線の始点(P_5),終点(P_e)
の原点より離れた方を採用
して: u_std を決定する.

get_y1 作業範囲



平面ベクトル Case 2 を使用.